連続シンポジウム
「世界哲学・世界哲学史を再考する」第三回

哲学の領域横断的対話を求めて

EAA
EAST ASIAN ACADEMY FOR NEW LIBERAL ARTS
東アジア藝文書院

世界哲学では従来、地域・時代・伝統ごとに別々に研究が進められてきました。今回のシンポジウムでは、古代インドの仏典を専門にする下田氏、中世イスラームのシーア派を専門にする菊地氏、近代フランスの啓蒙思想を専門にする王寺氏にお話いただき、領域を横断して世界哲学を構築する方法論と共通問題を探っていきます。

【日時】
2021 年 4 月 30 日（金）
17:00~19:00

【場所】 Zoom ミーティング
https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZAkceqgqjkvHNIyept4VUNJmLYgSTW0CpRx
※要事前登録

【言語】 日本語

司会　：納富信留
報告者　：下田正弘、菊地達也、王寺賢太
コメンテーター：笠松和也

【プログラム】

趣旨説明（納富）	：17:00~17:10
仏教における歴史性と超歴史性（下田）	：17:10~17:30
イスラム思想の中のギリシア哲学（菊地）	：17:30~17:50
フランス啓蒙の見た世界・＜われわれ＞・歴史（王寺）	：17:50~18:10
コメント（笠松）	：18:10~18:20
報告者の間での討論	：18:20~18:50
まとめと今後の課題（納富）	：18:50~19:00

【主催】
東京大学東アジア藝文書院（EAA）

【共催】
哲学会

【連絡先】
納富信留 notomi@l.u-tokyo.ac.jp